

# SuBACo だより

2026  
6月号

まちなか交流施設  
すないる  
SuBACo

西1条北2丁目1-20  
0125-74-4885  
8時30分～17時  
休館日 土日祝

企画・編集  
砂川市役所  
地域おこし協力隊  
商工労働観光課  
中野有菜  
原田修平  
森 直之

## SYUの成長日記

今回から新設された新しい企画、協力隊原田修平の成長を記録するコーナーです！

第1回は、5月23日から5月29日まで支笏湖で行われたSCYインストラクター講習会についてです。7日間の講習でレベル1インストラクターになることが出来ました。



技術面の成長だけでなく、SCYインストラクターとしての心構えや安全管理、緊急時の対応などSCYを楽しむ側から楽しめる側になるための意識が芽生えた研修となりました。



今後はインストラクターとしての経験を増やしていくと共に砂川市での初心者向けSCYイベントなどを企画して、砂川市でSCYやアウトドア活動が活発になるような取り組みをしていきたいと考えています。

また、SCYのガイドとしての活動を目標にしているため、更に高いレベルの指導技術や安全管理について勉強を重ねレベルアップしていきたいと思っています。

## 北光公園で水上散歩

「砂川の自然をもっと体感しよう！」ということで、地域おこし協力隊のメンバー一同で北光公園に集まり、SCYとカヌーに挑戦しました！

写真を見ての通り、チームワークとバランス感覚はバッチリです。パドルを漕ぎ進めながら、砂川のこれからのまちづくりや、この大自然を活かした楽しい企画について、水の上で熱く、楽しく語り合いました。

砂川市地域おこし協力隊は、まず私たち自身が砂川の「楽しい！」を全力で体験し、どんどん発信していきます。

『こんな協力隊たちと一緒にSCYやカヌーの体験をしてみたい。』、『砂川市のこんな場所が楽しいから案内したい』という方はまちなか交流施設すないる内のSuBACoにお声掛けいただくか、InstagramのSuBACo各協力隊の個人アカウントへご連絡ください。

SCYやカヌーの体験がしたいけど初めてだし不安という方も安心してください！北光公園では1から丁寧に、SCY、カヌー、ボートの漕ぎ方を教えてくれます。毎週日曜日に無料開放していますので、ぜひ一度体験してみたいかがでしょう。



## 予約不要

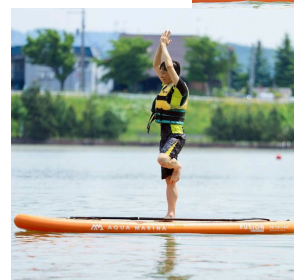
場所 北光公園内 B&Gの海洋センター艇庫  
(砂川市西3条北10丁目)

個人利用 5月10日(日) から9月27日(日)  
毎週日曜日(7月は土曜日でも利用可能です)

午前の部: 10時00分から12時00分  
(最終受付11時30分)

午後の部: 13時00分から15時00分  
(最終受付14時00分)

※団体でのご利用は予約が必要です



協力隊も全力で遊びました！

【お問い合わせ】砂川市B&G海洋センター (TEL: 0125-52-4809)

04

木のピラミッド



いよだ

砂川市東1条南2丁目1-8



ローカルみやげ代表？！  
砂川といえば！の子どもに  
あるピラミッドをモチーフ  
にした砂川銘菓。キャラメル  
ナッツがはいったホロホロの  
焼き菓子です。

# 着任のお知らせ 地域おこし協力隊

6月から地域おこし協力隊に加わった森です。  
主な活動は、商店街魅力発信です。主としてSUBACOに勤務しています。

今回は、初回ということで自己紹介とどんな活動をしていきたいかをお届けしていきます。

座右の銘  
人生は、一度きり



南アフリカ

|      |                                                                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏名   | 森 直之<br>Mori Naoyuki                                                                                          |
| あだ名  | もりなお、なお                                                                                                       |
| 生年月日 | 1989年9月11日                                                                                                    |
| 趣味   | スポーツ全般、旅行<br>北海道174市町村<br>47都道府県、24カ国既訪                                                                       |
| 略歴   | ブラジル生まれ 🇧🇷<br>3歳から東京都清瀬市<br>2019年 ニュージーランド<br>2020年 池袋<br>2022年 長野県松本<br>2023年 日本一周<br>2024年 札幌<br>2026年6月 砂川 |



北菓楼（砂川本店）

私の座右の銘は「人生は一度きり」です。後悔のないよう今を全力で生き、挑戦と感謝の気持ちを大切にしながら歩んできました。幼少時から冒険することや知らない事へのチャレンジが大好きでした。父親が商社に勤めていた影響もあり、普段から海外の話をよく聞いて育ちました。その環境のおかげで、知らない土地へ行き、そこでしかできない体験や出会い、食文化に強い興味を持つようになりました。中学生の頃には、鉄道オタクである親友の影響で、鉄道に乗って様々な地域を旅しました。また、大学生になってからは、アルバイトを始めた、大学のプログラムで海外へ渡ったりと、さらに多くの出会いに恵まれました。大学卒業後は、十種類以上のアルバイトをしながら東日本大震災支援や南アフリカ・カンボジアでサッカー支援をしていました。

その後、「海外で暮らしてみたい」という夢を叶えるため、ワーキングホリデー制度を利用してニュージーランドで年間生活しました。周囲に日本人が一人もいない職場という初めての環境でしたが、現地の方々からお裾分けをいただいたり、時には悩み相談に乗ってもらったりと、人の温かさに深く触れる貴重な経験となりました。

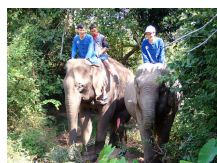
帰国後は、ニュージーランドで出会った妻（長野県松本市出身）と結婚し、東京で暮らし始めました。しかし、コロナ禍の影響もあり、妻が東京の生活に馴染めなかったことから、移住を決意。妻の実家に拠点を置きつつ、次の移住先を探す「日本一周の旅」に出発しました。あらかじめ調べていたいくつかの移住候補先で、実際に農業や旅館などで働きながら地元の方々と交流を深め、最終的な移住先を決めました。

そうして私たちが最終的な移住先に決めたのが、北海道でした。理由は、私と妻が大好きなニュージーランドの雰囲気や気候にとても似ていたからです。とはいえ、北海道には179もの市町村があり、どこにするかは非常に悩みました。そこでまずは一度、札幌に拠点を置くことにしたのです。札幌に住みながら、休日は道内を巡りました。また、札幌ではタクシードライバーとして働いていたため、乗車される地元のお客様から、ガイドブックには載っていない道内情報をたくさん教えていただきました。そうして熟考を重ねた結果、暮らす人々の温かさ、自然豊かな景色、そして自分がやりたい仕事のすべてがマッチした「砂川」へ移住することを決めました。

●左にある国旗は僕が訪れた国です。訪れた順番に並んでいます。



南アフリカ



ラオス



ニュージーランド

SUBACOだよりのバックナンバーは  
市役所・商工労働観光課・すないうるにて配布中！